



基準日 2014年8月29日付

## 基準価額の推移



## ファンドのデータ

基準価額	11,345円
純資産総額	1,164百万円
受益権総口数	1,026百万口
顧客数	727人

## ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	70.8%	▲7.2%
現金等	29.2%	+7.2%

構成銘柄	50社	±0社
------	-----	-----

## 分配金

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。

なお、初回決算は2014年12月18日の予定です。

## 基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	年初来	設定来
1.11%	11.31%	15.37%		12.07%	13.45%

## 運用の特色

### ①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

### ②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

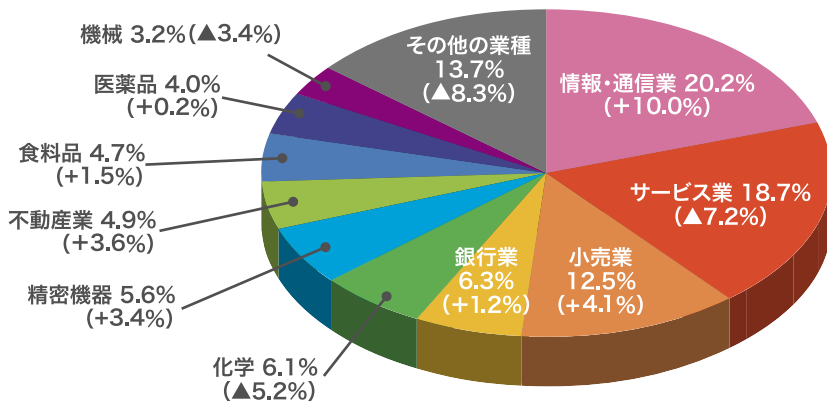
### ③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

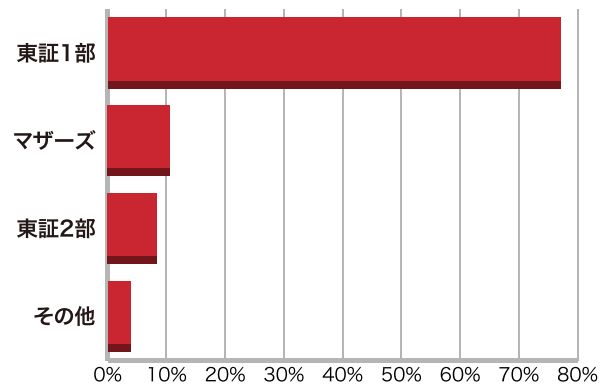
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2014年8月29日付

## 業種別構成比 ( )内は前月比



## 市場別構成比



- 比率は組入価証券を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## 組入上位5社

(2014年7月31日現在)

企業名	市場	業種	比率
ソニー	東証1部	電気機器	3.9%
三菱重工業	東証1部	機械	3.8%
セブン&アイ・ホールディングス	東証1部	小売業	3.8%
オービックビジネスコンサルタント	東証1部	情報・通信業	3.7%
新日本科学	東証1部	サービス業	3.3%

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

## 組入上位5社の紹介

(2014年7月31日現在)

企業名[コード]	概要
ソニー [6758]	井深大氏と盛田昭夫氏らによって設立されたベンチャー企業が前身。エレクトロニクス事業を出発点に、音楽・映画、ゲーム、金融と企業規模が拡大するなか、創業精神は失われ、国際競争力も大きく低下。新しい経営体制のなかで企業体質の変革を目指す。
三菱重工業 [7011]	世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
セブン&アイ・ホールディングス [3382]	コンビニエンスストア、総合スーパー、食品スーパー、百貨店、レストランなどを展開。変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指す。
オービックビジネスコンサルタント [4733]	「勘定奉行」をはじめ、企業に必要な基幹業務システム「奉行シリーズ」の開発・販売、導入指導を行っているパッケージソフトメーカー。顧客は、中堅、中規模、小規模の3つの企業層をターゲットとする。
新日本科学 [2395]	国内最大規模の医薬品開発の受託研究機関。動物を使った前臨床試験の受託に強みを持つ。医薬品開発過程における安全性研究から臨床薬理研究、臨床開発の受託まで一貫した“製薬メーカーへのサポート体制”に特徴がある。

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。

## 市場概況と運用状況

### 市場環境

8月の日本株は月間ベースで4ヶ月ぶりの下落に転じました。ウクライナを巡る欧米とロシアの経済制裁の応酬懸念やイラク情勢の悪化などにより大きく下落した後、地政学リスクへの和らぎから上昇しましたが、利益確定売りやウクライナ情勢への緊張感の高まりにより再び下落しました。日経平均は月間1.26%の下落、TOPIXは月間0.89%の下落となりました。

月初は、7月末に発生したアルゼンチンの債務不履行問題やFRBの早期利上げ観測などにより、欧米株式市場が総じて下落したことを受けて下落する展開となりました。7日深夜には、ロシア首相からウクライナ情勢を巡る対露制裁の報復措置が発表、ロシアの上空通過禁止を検討していることも明らかとなりました。さらに同日、オバマ米大統領がイラクでの空爆を承認したことなどが地政学リスクを高め、8日の日経平均は大幅に下落、月間安値14753円(ザラ場)を付けました。11日以降は、地政学リスクへの警戒感が和らいだことによる米国株の上昇、円安進行などにより、日経平均が21日まで9日間連続して上昇する展開となり、22日には月間高値15628円(ザラ場)を付けました。その後は、足元で上昇が続いたことによる利益確定売りで弱含む展開となり、月末にかけてはウクライナ東部にロシア軍が侵攻したことなどから再び緊張感が高まり、下落しました。

指数別で見ると、日経平均株価(▲1.26%)や東証マザーズ指数(▲1.17%)はTOPIXよりも下落しましたが、東証2部(+5.43%)や日経JASDAQ平均(+3.37%)は前月と同様に上昇しました。TOPIX規模別を下落順に見ると、コア30(▲1.63%)、ラージ70(▲1.08%)、ミッド400(▲0.59%)となりましたが、スモール(+1.53%)のみ上昇しています。業種別株価指数の騰落率上位3位は、医薬品、海運業、建設業。同下位3位は、金属製品、鉄鋼、その他金融業でした。なお、33業種のうち23業種が下落しています。

### 投資行動とパフォーマンス

(組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります)

#### ◎8月のポートフォリオ構成比率

8月末の株式等組入比率は、前月末78.1%から7.2%引き下げ、70.8%となっています。逆にキャッシュ(現金)比率は、前月末22%程度から30%程度に引き上げています。

#### ◎8月の投資行動

8月は、まず、株式市場が急落した8日前後のボトム圏で株式を買付しました。具体的には、ウクライナ情勢悪化に加え、オバマ米大統領のイラク空爆承認による地政学リスクの高まりなどから、株価下落によって割安になった株式を中心に株式等組入比率80%台まで買い増しをしました。その後、株価下落リスクの回避を目的として20~22日にかけて同比率を引き下げました。引下げ理由は、①地政学リスクへの警戒感が和らいだことなどにより、日経平均が21日まで9日間連続して急回復したこと、②22日の経済政策シンポジウム会合(ジャクソンホール)において、量的緩和縮小後の金融政策を占うイエレンFRB議長のスピーチを控えていたこと、などです。

#### ◎8月の組入銘柄の内訳(構成比率は組入有価証券を100%として計算)

8月末の組入銘柄は、前月末から変わらずの50銘柄となりました。業種別構成比率トップ3は、情報・通信業20.2%、サービス業18.7%、小売業12.5%の順です。市場別構成比率トップ3は、東証1部77.1%、マザーズ10.6%、東証2部8.4%です。

#### ◎組入上位5社(1ヶ月遅れの開示のため7月末現在)

7月末の新規トップ5に新たに入った銘柄は、「ソニー」、「セブン&アイ・ホールディングス」、「オービックビジネスコンサルタント」の3社です。圏外になった銘柄は、「任天堂」、「ALSOK」、「日立製作所」の3社です。

#### ◎8月のファンド月間リターン

8月末の基準価額は11345円(7月末11221円)。ファンドの月間リターンは1.11%の上昇となりました。私たちが参考指標としている同月のTOPIXは0.89%の下落、日経平均は1.26%の下落となっています。また、ファンドの年初来(8か月)リターンは12.07%の上昇となりました。年初来のTOPIXは1.87%の下落、日経平均は5.32%の下落となっています。

2014年9月4日 運用部長 糸島 孝俊

## メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
8月3日	日経ヴェリタス	コラム「渋澤健の愛と資本主義」に『預金は「永遠の貸金庫」ではない』と題し掲載されました
8月4日	日経CNBC	渋澤が「ヴェリタストーク」に出演し、マーケットについてコメントしました
8月9日	日経電子版	<a href="#">「マネーブログ カリスマの直言」のコーナーに渋澤が「GPIF改革より休眠預金の活用を」を寄稿しました</a>
8月15日	日経電子版	<a href="#">「エボラ熱、株式市場は無縁か SARSに学ぶ」に糸島がコメントしました</a>
8月18日	日経電子版	<a href="#">「世界の金利低下、強まる株式市場のモヤモヤ感」に伊井がコメントしました</a>
8月18日	日経新聞	<a href="#">「ファン株主」と投資先が交流 投信運用会社が橋渡しにコモンズの取組が紹介されました</a>
8月22日	東洋経済	<a href="#">草食投資隊をフォローせよ『ど田舎』の秋田・五城目町に学ぶ地方再生』が掲載されました</a>
8月23日	日経電子版	<a href="#">「年間5兆円規模の買い手に 子どもNISAの衝撃」にコモンズ投信の取組が紹介されました</a>
8月25日	フォーブスジャパン	2014年8月25日Forbes Japan 10月号の特集記事に渋澤が寄稿しました
8月31日	日経ヴェリタス	『プロ投資化が語る過去の波乱相場』に糸島がコメントしました

## セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ	9月4日(木)	19:00~21:00	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
	9月13日(土)	13:00~15:00	
おでかけはじコモ	9月27日(土)	14:00~15:30	愛知県名古屋市 (TKP名古屋ビジネスセンター)
はじめてのコモンズ~投資ビギナーズ編~	9月26日(金)	10:00~11:30	東京都千代田区 (コモンズ・オフィス)
これであなたも、金持ち父さん!~デフレ脱却後の投資術~	9月16日(火)	21:00~22:00	<a href="#">インターネット配信</a>
くつろぎBAR	9月17日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
自分の手元から始める豊かな未来への投資 ~渋澤健と一緒に考える2020vision~	9月21日(日)	15:30~17:30	北海道札幌市 (TKPガーデンシティ札幌駅前)
自分の手元から始める豊かな未来への投資 ~渋澤健のコモンズ30ファンドとザ・2020ビジョンのお話~	9月30日(火)	19:00~20:30	大阪府大阪市 (TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター)
「ザ・2020ビジョン」セミナー	10月2日(木)	10:00~11:30	神戸市中央区 (plug078 スタジオA)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (フォーラムの部)	10月4日(土)	14:30~17:00	東京都千代田区 (日比谷図書文化館内)
第6回コモンズ社会起業家フォーラム (懇親会の部)		17:00~18:45	
「ザ・2020ビジョン」 運用報告&マーケット見通し	10月8日(水)	13:30~15:00	東京都豊島区 (マイスペース MS&BB池袋西武横店)
		19:00~20:30	東京都中央区 (貸会議室プラザ 八重洲北口)
	10月13日(月・祝)	10:00~11:30	大阪府大阪市 (AP大阪梅田茶屋町)
		15:00~16:30	愛知県名古屋市(ウインクあいち)

※セミナーの詳細、お申込は弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

## ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

### お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

**03-3221-8730**

■メール

**commons-call@commons30.jp**

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

**コモンズ投信株式会社**  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階